

《担当者名》百野 公平（非）

【概要】

人体の構造と機能について学ぶとともに、我が国において重要な疾患についての基礎知識ならびにリハビリテーション等についても学ぶ。

【学修目標】

疾病とその背景について理解するために、人体の構造や機能について学び、疾病発現について説明できるようになること。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	人の成長・発達と老化	序論・人の成長・発達と老化	百野
2	身体構造と機能1	各器官の構造と機能 / 水分と脱水、血液	百野
3	身体構造と機能2	各器官の構造と機能 / 循環器、腎臓	百野
4	身体構造と機能3	各器官の構造と機能 / 呼吸器、消化器	百野
5	身体構造と機能4	各器官の構造と機能 / 中枢神経系、内分泌	百野
6	疾病の概要1	生活習慣病・悪性腫瘍	百野
7	疾病の概要2	脳神経疾患・循環器疾患	百野
8	疾病の概要3	高血圧・糖尿病、内分泌疾患	百野
9	疾病の概要4	呼吸器疾患	百野
10	疾病の概要5	消化器疾患	百野
11	疾病の概要6	血液疾患、腎臓疾患	百野
12	疾病の概要6	骨関節疾患、目耳の疾患、感染症	百野
13	疾病の概要7	神経疾患、難病、先天疾患	百野
14	障害の概要 1	視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、知的障害	百野
15	障害の概要 2	認知症、高次機能障害、精神障害	百野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験80%、受講態度、小テスト等20%

【教科書】

新・社会福祉士養成講座 人体の構造と機能及び疾病 中央法規

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「人体の構造と機能及び疾病」に該当する。教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「人体構造及び日常生活行動に関する理解」に該当する。

【学修の準備】

今回の授業について教科書等を事前に読み、授業の際に質問ができるように準備をしておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,4

【実務経験】

医師

【実務経験を活かした教育内容】

北大病院、その他の病院における、内科医、精神科医としての実務経験を活かし、実践的な教育を行う